

# 令4 中学校・高等学校数学 (4枚のうち1)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

I 次の各問いに答えなさい。解答は、答えのみでよい。

(1) 表は、ある学校の生徒10人の英語と数学の小テストの結果をまとめ、人数を記したものである。ただし、各小テストは5点満点で、空欄は0人であることを表す。

このとき、英語と数学の点数について述べたものとして正しいものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 英語の点数の中央値と最頻値では中央値の方が大きい。

イ 数学の点数の中央値と平均値では平均値の方が大きい。

ウ 英語と数学の合計点の平均値は5点より大きい。

エ 英語の点数が3点未満である生徒の数学の点数の平均値は、英語の点数が3点以上である生徒の数学の点数の平均値より大きい。

表

(点)	5				1	
4		2		1		
3		1	1			
2			1			
1	1	1				
0	1					
	0	1	2	3	4	5 (点)
						数学

(2) 次の枠内は「2次関数  $y=x^2-2ax-a+6$  のグラフと  $x$  軸の正の部分異なる2点で交わるように、定数  $a$  の値の範囲を定めなさい。」という問題に対する、ある生徒の答案である。

$f(x)=x^2-2ax-a+6$  とおくと、2次関数  $y=f(x)$  のグラフの軸は、直線  $x=a$  である。したがって、求める  $a$  の値の範囲は  $a>0$  である。

この答案は誤りであるが、条件をいくつか追加し共通範囲を求めることで、正しい  $a$  の値の範囲を定めることができる。追加しなければならない条件を、次のア～クからすべて選んで、その符号を書きなさい。

ア  $f(a) \geq 0$                   イ  $f(a) \leq 0$                   ウ  $f(a) > 0$                   エ  $f(a) < 0$

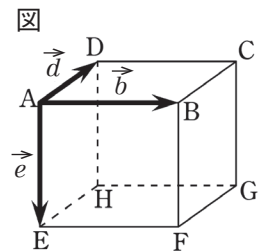
オ  $f(0) \geq 0$                   カ  $f(0) \leq 0$                   キ  $f(0) > 0$                   ク  $f(0) < 0$

(3) 放物線  $y=-x^2+8x-15$  と  $x$  軸で囲まれた図形の面積を求めなさい。

(4) 図のような立方体  $ABCD-EFGH$  において、辺  $EF$  を  $2:1$  に内分する点を  $I$  とする。

$\vec{AB}=\vec{b}$ 、 $\vec{AD}=\vec{d}$ 、 $\vec{AE}=\vec{e}$  とするとき、次のベクトルを  $\vec{b}$ 、 $\vec{d}$ 、 $\vec{e}$  を用いて表しなさい。

- ①  $\vec{BE}$     ②  $\vec{DI}$



(5) 次の問いに答えなさい。

① 等比数列  $\frac{2}{3}, -\frac{1}{2}, \frac{3}{8}, \dots$  の第  $n$  項  $a_n$  を  $n$  の式で表しなさい。

② 無限等比級数  $\frac{2}{3} - \frac{1}{2} + \frac{3}{8} - \dots$  は収束する。その和を求めなさい。

(6) 曲線  $y=\log x$  上の点  $(2, \log 2)$  における接線の方程式を求めなさい。

II 1 から 9 までの数字が1つずつ書かれた9枚のカードが1つの袋に入っている。1枚のカードを袋から取り出しカードに書かれている数字を確認し袋に戻す、という試行を3回繰り返すとき、1回目の試行で確認したカードの数字を  $X$ 、2回目の試行で確認したカードの数字を  $Y$ 、3回目の試行で確認したカードの数字を  $Z$  とする。次の問いに答えなさい。

(1)  $X+Y+Z=3$  となる確率を求めなさい。解答は、答えのみでよい。

(2)  $X+Y+Z=4$  となる確率を求めなさい。解答は、答えのみでよい。

(3)  $X+Y+Z=21$  となる確率を求めなさい。

(4)  $X+Y+Z=12$  となる確率を求めなさい。

III  $AB=2$ 、 $BC=\sqrt{2}$ 、 $\cos \angle ABC = \frac{\sqrt{2}}{4}$  である  $\triangle ABC$  について、次の問いに答えなさい。

(1) 辺  $CA$  の長さを求めなさい。解答は、答えのみでよい。

(2)  $\triangle ABC$  の外接円の半径  $R$  を求めなさい。解答は、答えのみでよい。

(3)  $\triangle ABC$  の外接円の中心を  $O$  とする。直線  $BO$  と  $\triangle ABC$  の外接円の交点のうち、点  $B$  と異なる点を  $D$  とするとき、線分  $AD$  の長さを求めなさい。解答は、答えのみでよい。

(4) (3)の点  $D$  について、直線  $CD$  と直線  $AB$  の交点を  $E$  とする。

- ① 線分  $EC$  の長さを求めなさい。                  ②  $\triangle ADE$  の面積  $S$  を求めなさい。

IV  $k$  は定数とする。放物線  $y=x^2+3x \dots \dots$  ① と、直線  $y=kx-k^2 \dots \dots$  ② が異なる2点  $P$ 、 $Q$  で交わっている。線分  $PQ$  の中点を  $M$  とするとき、次の問いに答えなさい。

(1)  $k$  の値の範囲を求めなさい。解答は、答えのみでよい。

(2) 点  $M$  の座標を、 $k$  を用いて表しなさい。

(3)  $k$  の値が(1)で求めた範囲で変化するとき、点  $M$  の軌跡を求めなさい。

令4 中学校・高等学校数学解答用紙 (4枚のうち2)

総計		

I	(1)				
	(2)				
	(3)				
	(4)	①		②	
	(5)	①		②	
	(6)				
II	(1)				
	(2)				
	(3)				
	(4)				

I		

II		

令4 中学校・高等学校数学解答用紙 (4枚のうち3)

Ⅲ	(1)				
	(2)				
	(3)				
	(4)	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">①</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">②</td> <td></td> </tr> </table>	①		②
①					
②					

令4 中学校・高等学校数学解答用紙 (4枚のうち4)

Ⅳ	(1)	
	(2)	
	(3)	

# 令 4 中学校・高等学校数学 模範解答

総計
200

I	(1)	イ	
	(2)	エ, キ	
	(3)	$\frac{4}{3}$	
	(4)	① $\overrightarrow{BE} = \vec{e} - \vec{b}$	② $\overrightarrow{DI} = \frac{2}{3}\vec{b} - \vec{d} + \vec{e}$
	(5)	① $a_n = \frac{2}{3}\left(-\frac{3}{4}\right)^{n-1}$	② $\frac{8}{21}$
	(6)	$y = \frac{1}{2}x + \log 2 - 1$	

I
60

II	(1)	$\frac{1}{729}$
	(2)	$\frac{1}{243}$
	(3)	<p><math>X + Y + Z = 21</math> となる 3 つの数字 (X, Y, Z) の組は</p> <p>[1] すべて異なる数字の場合  <math>(9, 8, 4), (9, 7, 5), (8, 7, 6)</math></p> <p>[2] 同じ数字が 2 つの場合  <math>(9, 9, 3), (8, 8, 5), (9, 6, 6)</math></p> <p>[3] すべて同じ数字の場合  <math>(7, 7, 7)</math></p> <p>よって求める確率は</p> $(3! \cdot 3 + {}_3C_1 \cdot 3 + 1) \left(\frac{1}{9}\right)^3 = \frac{28}{729}$

II	(4)	<p><math>1 \leq X \leq 9, 1 \leq Y \leq 9, 1 \leq Z \leq 9</math> だから <math>X-1=D, Y-1=E, Z-1=F</math> とおくと</p> <p><math>X=D+1, Y=E+1, Z=F+1</math> と <math>X+Y+Z=12</math> より</p> <p><math>D+E+F=9</math> (ただし <math>0 \leq D \leq 8, 0 \leq E \leq 8, 0 \leq F \leq 8</math>)</p> <p><math>D+E+F=9</math> となる数字の組合せは 9 個の ○ と 2 個の   を並べる順列と一致する。</p> <p>よって</p> $\frac{11!}{2!9!} = \frac{11 \cdot 10}{2 \cdot 1} = 55 \quad (\text{通り})$ <p>ただし <math>(D, E, F) = (0, 0, 9), (0, 9, 0), (9, 0, 0)</math> は除く</p> <p>したがって 求める確率は</p> $(55 - 3) \left(\frac{1}{9}\right)^3 = \frac{52}{729}$
----	-----	---

II
40

# 令 4 中学校・高等学校数学 模範解答

(1)  $CA = 2$

(2)  $R = \frac{2\sqrt{14}}{7}$

(3)  $AD = \frac{2\sqrt{7}}{7}$

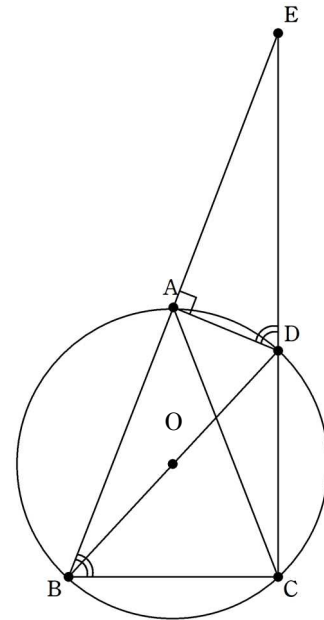
右図より、BDは円の直径である。

よって  $\angle BCD = 90^\circ$

$$\sin \angle ABC = \sqrt{1 - \cos^2 \angle ABC} = \sqrt{1 - \left(\frac{\sqrt{2}}{4}\right)^2} = \frac{\sqrt{14}}{4}$$

① 
$$\tan \angle ABC = \frac{\sin \angle ABC}{\cos \angle ABC} = \frac{\frac{\sqrt{14}}{4}}{\frac{\sqrt{2}}{4}} = \sqrt{7}$$

よって  $EC = BC \cdot \tan \angle ABC = \sqrt{2} \cdot \sqrt{7} = \sqrt{14}$



III

(4)

四角形ABCDは円に内接するから

$$\angle ADE = \angle ABC$$

よって  $\tan \angle ADE = \tan \angle ABC = \sqrt{7}$

また  $\triangle ADE$ は $\angle DAE = 90^\circ$ の直角三角形であるから

求める三角形の面積は

② 
$$S = \frac{1}{2} \cdot AD \cdot AE = \frac{1}{2} \cdot AD \cdot AD \tan \angle ADE = \frac{1}{2} \cdot \frac{2\sqrt{7}}{7} \left(\frac{2\sqrt{7}}{7}\right) \cdot \sqrt{7} = \frac{2\sqrt{7}}{7}$$

## 令 4 中学校・高等学校数学 模範解答

IV	(1)	<p><math>-3 &lt; k &lt; 1</math></p> <p>①, ②より, <math>y</math> を消去して整理すると</p> $x^2 + (3 - k)x + k^2 = 0 \dots\dots ③$ <p>③を解くと</p> $x = \frac{-(3 - k) \pm \sqrt{(3 - k)^2 - 4k^2}}{2}$ <p>よって, 点Mの <math>x</math> 座標は</p> $x = \frac{1}{2} \left\{ \frac{-(3 - k) + \sqrt{(3 - k)^2 - 4k^2}}{2} + \frac{-(3 - k) - \sqrt{(3 - k)^2 - 4k^2}}{2} \right\} = \frac{1}{2}(k - 3) \dots\dots ④$ <p>また, 点Mの <math>y</math> 座標は, ②, ④より</p>
	(2)	$y = k \cdot \frac{1}{2}(k - 3) - k^2 = -\frac{1}{2}(k^2 + 3k) \dots\dots ⑤$ <p>したがって, 点Mの座標は</p> $\left( \frac{1}{2}(k - 3), -\frac{1}{2}(k^2 + 3k) \right)$
	(3)	<p>④より</p> $x = \frac{1}{2}(k - 3)$ <p>であるから <math>k = 2x + 3 \dots\dots ⑥</math></p> <p>これを⑤に代入して <math>k</math> を消去すると</p> $y = -\frac{1}{2}\{(2x + 3)^2 + 3(2x + 3)\}$ <p>すなわち</p> $y = -2x^2 - 9x - 9$ <p>また, (1) と⑥より</p> $-3 < 2x + 3 < 1 \quad \text{すなわち} \quad -3 < x < -1$ <p>よって, 求める点Mの軌跡は</p> <p>放物線 <math>y = -2x^2 - 9x - 9</math> の <math>-3 &lt; x &lt; -1</math>の部分である。</p>